## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

되다 선 / # \	女亲专用其体:带应/B : 6		``	137) alle   ♦	4000075
科目名(英)	文章表現基礎講座(Basic Course of Sentence Expression)		授業コード	A030875	
担当教員名	杉浦 嘉雄		科目ナンバリン グコード		
配当学年	1	開講期	後期		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	「基礎学力講座1・2(国語)」を履修し <sup>・</sup>	ていることが望ましい。	。(教科書	は同じ。)	
受講心得	教科書は必ず持参してください。ノーがよろしい。予習や復習のために図書う。欠席や遅刻のないように、また、授	館や人間力育成セン	ターの図	書を積極的に	利用しましょ
教科 <b>書</b>	  GK7著『スキルアップ国語カ〜大学生	のための日本語練習	帳 <b>~</b> 』(東	[京書籍)	
参考文献及び指定 図書	『三省堂国語辞典 第六版』(比較的小型)、江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第二版』(三省堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)、金田一春彦(監修)『手紙の書き方辞典』(学習研究社)、『国語カアップ400問』(NHK出版[生活人新書067])、『国語カもっとアップ400問』(NHK出版[生活人新書105])、水谷信子『心を伝える日本語講座』(研究社出版)、加納善光『漢字の常識・非常識』(講談社現代新書954)、池上彰『日本語の「大疑問」』(講談社中 新書6-1 C)、秋月高太郎『ありえない日本語』(ちくま新書524)、金武伸弥『王道日本語ドリル』(集英社新書0428E)、佐竹秀雄『日本語教室Q&A』(角川ソフィア文庫)、鈴木輝一郎『日本語の逆襲』(小学館)、清水義範『日本語がもっと面白くなるパズルの本』(光文社文庫)、樋口裕一『本当に使える!日本語練習ノート』(PHP新書622)、朝日新聞出版(編)『日本語きほん帳』(朝日文庫)。				
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、基礎	学力講座1・2(国語)	、英語1•	・2、情報リテラ	シー1・2

授業の目的	基礎的な国語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における国語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人がもつべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座(国語)」では文字表現や文章作成を学びましたが、後期のこの科目ではそれに引き続き、文章実践や口語表現を学んでさらに日本語力に磨きをかけ、それによって特に日常生活におけるコミュニケーション能力の養成を図ります。
授業の概要	第1回の前半はこの科目のオリエンテーション。半年間の授業で教科書の後半を取り扱います。(前半は前期の「基礎学力講座1・2(国語)」で取り扱いました。)第1回の後半から第15回まで教科書の「文章実践編」(第15課~第24課)と「口語表現編」(第25課~第29課)とを学んで行きます。毎回、課題の提出があります。 第16回に第1回から第15回までの授業内容についての期末試験を行います。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:オリエンテーション+教科書のはじめに・第0回	
半年間の学習に関するオリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表の取り扱い、質問の受け付け、成績評価の方法等について説明します。また、第0回の演習では、適切な日本語のイメージ作りのための練習します。	第1回~第15回 授業に 出る前に教科書の該当箇 所をよく読み、練習問題を 解いてみること。必要に応 じ辞書(国語辞典等)を引く
第2週:教科書の第1章・第1回	
内容:第1章「敬語」における第1回「敬語の種類と使い分け」	作業済みのテキストの提出
第3週:教科書の第1章・第2回	
内容:第1章「敬語」における第2回「注意すべき敬語」	作業済みのテキストの提出
第4週:教科書の第1章・第3回	
内容:第1章「敬語」における第3回「配慮を示す言葉」	作業済みのテキストの提出

│備考 │	ス」の授業はこれとは内容が異なります。			
	   このシラバスは「日本人・一般クラス」	用です。「日本人・導入クラス」	および「外国人留学生クラ	
地域志向科目	\(\o\f\gamma\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
技未い建邑万法	(3)アクティブ・ラーニング	「クムーハヘクス」		
   授業の運営方法	(1)授業の形式 (2)複数担当の場合の方式	「演習等形式」		
	(1) 恒業の以子	[		
第10回: 州木武殿 第1回~第15回の範囲の理解度を図るための試験		まとめと試験		
第16週:期末試験	第16年,期土計除			
内容:第5章「総合問題」における第14回「期末試験のための準備」			作業済みのテキストの提出	
第15週:教科書の	第5章•第14回			
第14週: 教科書の第4章・第13回 内容:第4章「漢字・表記」における第13回「仮名遣い・送り仮名」		作業済みのテキストの提出		
	第13週: 教科書の第4章・第12回 内容:第4章「漢字・表記」における第12回「部首・音訓・熟語」 作業済みのテキストの提出			
	第3早・第11回 言葉の意味」における第11回「コロケ-	ーション(連句) 」	作業済みのテキストの提出	
第12週:教科書の	第2音,第11同			
内容:第3章「語彙・	言葉の意味」における第10回「文体、	話し言葉・書き言葉」	作業済みのテキストの提出	
第11週:教科書の	第3章-第10回			
	第3章・第9回 言葉の意味」における第9回「動詞の自	目他·視点」	作業済みのテキストの提出	
第10週:教科書の		~1 4%□□ 】	IF本のvrvノコスI*VJ延山	
第9週:教科書の 内容·第3章[語彙・	第3章・第8回 言葉の意味」における第8回「類義語・	<b>グ</b> 業証 I	作業済みのテキストの提出	
内容:第2章「敬語」	における第7回「接続語・指示語と文章	J	作業済みのテキストの提出	
第8週:教科書の	第2章・第7回			
第7週:教科書の第2章・第6回 内容:第2章「敬語」における第6回「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」			作業済みのテキストの提出	
	における第5回「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」		作業済みのテキストの提出	
第6週:教科書の	第2章・第5回			
	プ第2章・第4回  における第4回「品詞・活用の種類」 作業済みのテキストの提出			
第5週:教科書の	<b>第2音・第4回</b>			

## 〇単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心·意欲·態 度】 普段の生活の中で何気なく使っている日本語に対して意識を高め、日本語として自然な表現に 関心を持ち、一般社会人としての十分なコミュニケーションが行えること。

【知識・理解】	日常の言語的コミュニケーションに必要な、日本語の基礎的な理解力と文章表現力とを有すること。
【技能・表現・コミュニ ケーション】	上記コミュニケーションを十分行うために必要な日本語の運用能力を備え、相手にわかりやすく伝
【思考·判断·創 造】	言語活動において的確な言葉の選択能力や、適切な言葉により深く掘り下げて考える能力が身に

〇成績評価基準(合計100点)		合計欄	100点	
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【 <b>関心・意欲・態度</b> 】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。			30	)点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	40点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点		
【 <b>思考・判断・創造】</b> ※「考え抜くカ」を含む。				

## (「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	教科書の第1課から第28課までにつき、小テスト提出が14回あります。小テスト提出1回あたり、最高2点を与えます。(出来具合によって1点や0点のこともあります)	
発表・その他 (無形成果)	授業への出席1回あたり2点を与えます。遅刻・早退の場合はその半分です。	